

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX:0595 (21) 8839

E-Mail:iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 A-8 体育・水泳指導を実施しました！ 「学校体育・水泳授業安全対策」

講師：ウエストスポーツクラブ佐那具 杉森誠さん 川端貴也さん

5月28日(木)にウエストスポーツクラブにおいて、「体育・水泳指導」を行いました。はじめに杉森講師より、プールに入水するための事前指導についてのお話がありました。水泳授業の安全対策として「準備体操は確実に」「入水時の飛び込み禁止」「泳ぐときの間隔注意」等、「子どもたちが『楽しい』と思える授業のため」に守るべき約束事を具体的に教えていただきました。また人は自分の膝ほどの水位で溺れる可能性があり、水難事故は思っているよりも簡単に起きてしまうことをご教示いただきました。



後半は川端講師から実技指導をしていただきました。

受講生全員でウォーミングアップとして、25メートルをポビングで歩きました。ポビングは息継ぎの練習であるとともに、足の届かない水深のところでも移動手段として使えることから「丁寧に指導するところである」とお話しされました。講座

の最後には、溺れている子がいたときの対処法をご指導いただきました。「①指導者自身が慌てて飛び込まないこと ②入水は、対象児童の近くまで行き、足先から入ること ③対象児童のところまで歩いていき、後ろから腕を回してつかむこと」を教わりました。全体を通して指導者が慌てずに落ち着いて救助することを学びました。今回の学びをぜひ実践していただくとともに、「安全・安心で楽しいプール水泳」実施に向け、各校で還流していただきますよう、お願いします。

アンケートより【一部抜粋】

・水泳授業の安全対策について詳しく学ぶことができた。安全に行うには、最初の授業が肝心であることを知った。大きなケガや事故につながる恐れのある行為が見られた場合には、すぐに注意や指導を行っていきたい。頭の重さは4kgあるため、走っている児童が急停止しようとするとき重心が前にかかり、転倒してしまうことを教えていただいた。またクロールのサポートの仕方、溺れている児童の救助方法など多くのことを吸収することができ、有意義な研修となった。自分自身も泳ぐことが苦手だからこそ、水泳に苦手意識をもつ児童に対して、研修で吸収した支援の仕方や児童に応じた指導を実践していきたい【小】

・安全面と指導面の両方において、非常に学びの多い時間となりました。特に「膝下の水深でも死に至る可能性がある」というお話にはハッとさせられ、安全管理の徹底を心に誓いました。実技の面では、バタ足やクロールの指導における「教員の立ち位置」を具体的に教えていただき、これまでなんとなく立っていた位置に明確な意味があることを理解できました。児童の動きをサポートしつつ、プール全体に目を配れる立ち位置を体得できたので、今年の水泳授業では、児童が安全・安心して水に親しみ、技能を伸ばせるよう、今回学んだことを即座に実践に活かしていきたいです。【小】